



平成 31 年 4 月 1 日

企業労働災害担当、福利厚生担当者様

(一社) ジャパン・アスレティックトレーナーズ機構

会長 上松 大輔

〒151-0051

東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-11-12

第 2 メゾンブーケ B1-B

### 労働災害予防・健康経営のセミナー開催について (ご案内)

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、一般社団法人ジャパン・アスレティックトレーナーズ機構 (JATO) は、アメリカのナショナルアスレティックトレーナーズ協会 (NATA) のご協力をいただき、アスレティックトレーナーによる『労働災害予防・健康管理』をテーマとしたセミナーを開催する運びとなりました。今回の取り組みは日本初開催となります。つきましては、雇用者の労働環境と健康に高い意識を持つより多くの企業の皆様にご参加いただきたく、この度ご案内をお送りさせていただきました。

アメリカにおけるアスレティックトレーナー (Athletic Trainer, Certified、以下 ATC) は、スポーツや身体活動をする人々の健康をサポートする医療資格者として認められています。アスレティックトレーナーの活動領域はスポーツ現場のみならず、病院、学校、一般企業、また工業製品の製造現場や軍隊などの肉体的負荷の多い職種まで多岐に渡り、関係する人たちの心と体のサポートをすることで、保険料の削減や休職者・休職期間の減少などに寄与しています。また、日本では現在約 200 名の ATC が活動しています。

本セミナーでは、世界アスレティックトレーニング & セラピー連盟 2019 第 10 回ワールドコンgres東京で基調講演をされる 3 名の海外講師の方々にご登壇いただき、各々の活動からどのように企業の健康経営に関与しているかをお話しいたします。ご多忙とは存じますが、ご出席いただき共に学びと交流のお時間を過ごせましたら光栄です。

ご出席いただける場合は、お手数ですが下記の申込先までご連絡いただければ幸いです。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

敬具

日 時 : 平成 31 年 5 月 13 日 ( 月 ) 10:00 ~ 15:00

場 所 : 幕張メッセ国際会議場 301

参加費 : 無料

対 象 : 企業・団体で労災予防・健康管理などの担当者

申込方法 : 下記よりお申込みください。

<https://pro.form-mailer.jp/fms/77b00b92168157>

講 師 ・ スケジュール : ( 順不同 )

- 10:00 - マーティ・マッターニー氏 「アスレティックトレーナー : 労働災害における防衛の最前線」  
10:45 - ディアナ・セトルズ氏 「戦場から競技場へ : 米国海軍 Operational Fitness and Fueling System を活用した最良のパフォーマンストレーニング」  
11:30- リー・バートン氏 「move well. move often が長期的な健康と活力の鍵」  
昼食休憩後 : 質疑応答・情報交換会

内 容 : 米国の企業及び軍における労働災害予防・健康経営と、アスレティックトレーナーの介入に関する先進的な取り組みをご紹介いただく。講師と企業担当者が対話を通して現状の改善策などアイデアを共有していただく予定。

**マーティ・マッターニー氏 略歴 :** 1981 年にワシントン州立大学を卒業、37 年間アスレティックトレーニングに携わっている。ボーイング社と契約のある Work-fit にて、Industrial Athlete (産業アスリート) プログラムを統括。当初 4 人のアスレティックトレーナーからこのプログラムを開始し、9 年間の間に 35 人以上で構成されるプログラムに発展させ、ボーイング 747、767、777 と 787 の製造工場の現場を支えている。ボーイング社は、傷害予防、労災軽減、生産率向上 において、アスレティックトレーナーの専門知識は必須であり、初期の介入は不可欠ととらえている。



**ディアナ・セトルズ氏 略歴 :** アメリカ国防総省にて、24 年のキャリアを持つアスレティックトレーナー。アメリカ軍事医療におけるアスレティックトレーナーの制度化を推進した立役者である。現在はアメリカ海軍・海兵隊保健所で傷害予防・運動介入のプログラムマネージャーを務めており、アスレティックトレーナーによる介入の効果を軍事医療の分野で証明している。



**リー・バートン氏 略歴 :** Functional Movement Systems 社代表、FMS の開発者の 1 人である。米国内及び海外の数多くの学会、カンファレンスに招聘されており、公刊論文も多数ある。米国のフィットネス 会社だけでなく、MLB、NFL、NBA、NHL などのプロ球団や米国軍・政府関係施設などのコンサルテーションなども行っている。バージニア工科大学にて、ヘルスプロモーション・ウェルネスに関する博士号を取得している。

